

共感が担保になる ファンクラブ型 資金調達。

活用企業
募集中!

CCIファンズ



↑ 当所会員(株)鯖や「とろさば専門店 SABARファンズ」募集HP

「CCIファンズ」は、豊中商工会議所がミュージックセキュリティーズ(株)と業務提携し、同社が運営するマイクロ(少額)投資プラットフォーム「セキュリテ」を活用した、「共感型資金調達」支援事業の名称です。

※ミュージックセキュリティーズ(株)は第二種金融商品取引業者【関東財務局長(金商)第1791号】として、当事業運営を行っています。

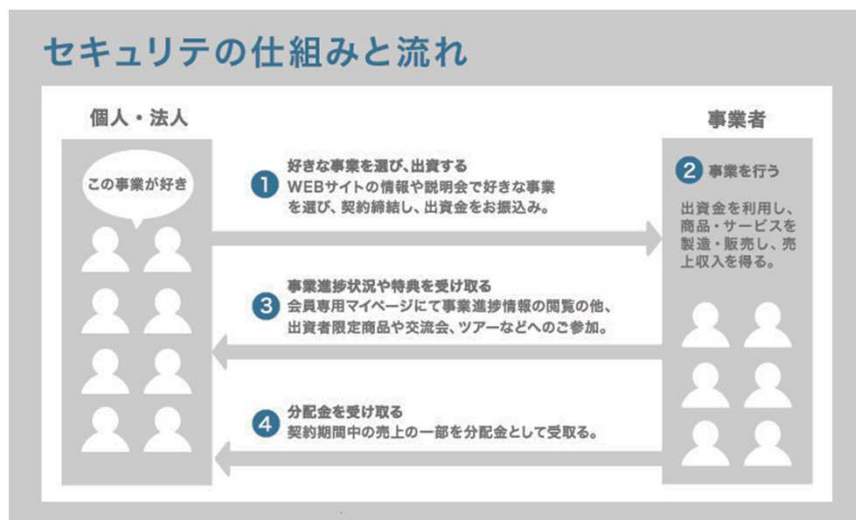
ミュージシャンがファンクラブ会員(会費)を募集するように、皆さんの事業資金を、投資募集サイト「セキュリテ」を通じて募集します。皆さんの**事業への想いやこだわり**、商品力、投資家特典等が、「応援したい! 投資したい!」を左右するため、豊中商工会議所とミュージックセキュリティーズ(株)で、事業計画作成からガッツリ支援を行います。**何より「共感を呼べるビジネスか」がポイント**です。

つまり、特にBtoC商品を、こだわって製造、もしくはサービス提供されている中小企業様にこそ、ハマる仕組みです!

◆「マイクロ投資（クラウド型ファンド）」って？

プロジェクトのための資金を調達できない個人・団体が、インターネット上で企画内容と必要な金額を提示し、広く支援を呼びかける手法。少額の資金提供者を多く集めることによって、目標額の達成をねらうもの。「crowd」は「群衆」の意-----「大辞泉」より

ちなみに、ミュージックセキュリティーズ（株）が運営するマイクロ投資プラットフォーム「セキュリテ」を図示するとこんな感じになります。



◆なぜ「共感型資金調達」なのか？

ミュージックセキュリティーズ（株）は、その名のとおり、13年前に「音楽ファンド」事業からスタートしました。これまで既に約200本のファンド運用実績があります。アーティストやその音楽に共感する「ファン」が少額ずつ出資し、CD製作やライブの資金を調達する。投資する「ファン」は、それらをアーティストと一緒に作り上げていく想いで投資し、さらに出来上がったCDやライブチケットを買う。「ファン＝お客様」でもあるわけです。

皆さまのビジネスも全く同じではないでしょうか。想いを込めて作る商品・サービス、そして企業自体に共感する「ファン」が投資をしてくれる。ファンの想いを汲みながらプロジェクトを推進する。そして、できた商品・サービスを、そのファンが買ってくれる。

ポイントは「そこに共感を呼べるストーリーはあるか？」ということ。ファンは共感から生まれ、彼らの共感が資金となり、かつお客様となっていく。だから、「こだわり」が強く、その「こだわり」への共感を募ることのできる中小企業こそ「共感型資金調達」が有用なのです。

なお、ミュージックセキュリティーズ（株）の100%子会社である大阪セキュリティーズ（株）は、大阪府の「クラウド型ファンド活用促進事業」を受託し、クラウド型ファンドの認知度の向上および府内中小企業等のクラウド型ファンド活用促進を図っています。豊中商工会議所はこの趣旨に賛同し、当所会員事業者の「セキュリテ」活用支援を実施しています。

◆でも、資金調達だけが目的なら、金融機関が良い。

ただ、やろうとする事業について、多くの方の共感を呼び、応援してもらうためには、その分、多くの情報を公開し、共感だけでなく「信用」も得なければなりません。会社内の情報や財務内容の一部はもちろん、事業計画も資金用途等も公開が必要。そして事業計画や財務内容についても、綿密な審査があります。かつ、もし審査に通ったら、ファンドを組成するための各種手続き・審査等に係る初期費用（豊中商工会議所会員割引有）や運営手数料だっただけかかってきます。ファンド運用期間中は、定期的に投資家向けに進捗状況や売上を報告する義務もあります。

つまり、「それなりの覚悟は必要です」ということ。だから資金調達だけが目的なら、金融機関から融資を受けることをおすすめします。「いや、それでもやってみたい！興味がある！」という方は下記へお問い合わせください。

◆「アツい想い」が沸いてきた方、詳細はご相談ください！

【ご相談・お問合せ】豊中商工会議所 中小企業相談所
担当：吉田（TEL 06-6845-8006）